

## 板橋駅西口周辺地区 地区計画原案説明会 実施結果概要

### ■開催概要

日 時：【1日目】令和2年11月5日（木）19:00～20:00  
【2日目】令和2年11月7日（土）10:00～11:00

会 場：ハイライフプラザいたばし2階ホール

主 催：板橋区 地区整備事業担当課

■参加人数：【1日目】12名、【2日目】11名 計23名

### ■説明内容（説明動画の上映）

- ① 地区計画制度について
- ② 板橋駅西口周辺地区のまちづくりについて
- ③ 地区計画の原案について
- ④ 地区計画の今後のスケジュールについて
- ⑤ 縦覧・意見書の募集について

### 主な質疑応答

#### 1 地区計画の原案について

**Q** ワンルーム制限（夫婦世帯規模の住戸供給）について、15戸以上が対象とあるが、その根拠は。また、14戸では制限されるのか。

**A** 区では、地区計画のワンルーム制限とは別に、小規模住戸集合建築物条例があり、総住戸30戸以上の内、35㎡未満の小規模住戸15戸以上の集合住宅を対象としています。この条例を参考に15戸以上としました。なお、14戸以下の場合は制限の対象外となります。

**Q** 三駅間の歩行者ネットワークを向上することにより商店街のにぎわいにどのような影響を与えていると考えているか。

**A** 今回の地区計画では、商店街の賑わいの維持向上のため、商店街に面する建物の1階部分を店舗とするルールを定める予定です。また、3駅間を通過するだけにならないよう、イベント等によるにぎわいづくりなど、ソフト面についても地域の方と連携していきます。

### 【お問い合わせ先】

板橋区 都市整備部 地区整備事業担当課

（拠点整備課 板橋駅周辺まちづくりグループ）

TEL：03（3579）2556 / FAX：03（3579）2129

Eメール：t-i-machi@city.itabashi.tokyo.jp

## 2 板橋駅西口周辺地区のまちづくりについて

**Q** 案内看板設置実験について、将来的に看板を設置する計画があるか。また、都市部の歩道等に設置されているようなポール等を用いた誘導看板を設置するのか。

**A** 案内看板設置実験は、仮設の実験であったため、立て看板を用いました。現在、案内看板設置の計画はありませんが、実験時のアンケート調査からも必要性を認識しております。駅前広場の再整備において、案内看板の設置の際の参考としていきます。

**Q** 板橋駅、新板橋駅の乗り換え経路について地下通路等の検討はあるか。

**A** 土地確保の問題や地上の商店街活性化の観点もあるため、現状、地下通路の検討はしていません。

**Q** 板橋駅付近の埼京線と旧中山道が交差する踏切について、立体交差化の予定はあるか。

**A** 板橋駅周辺の踏切についての立体交差化の予定はありません。

**Q** 補助 73 号線と東武東上線の踏切を立体交差化する計画の進捗は。

**A** 補助 73 号線は東京都による都市計画道路事業であり、板橋区側では道路幅員 20m から 26m に拡幅され、東武東上線の下をくぐる計画となっています。2015 年に事業認可され、土地買収が進んでいると聞いています。

**Q** 板橋駅～新板橋駅の乗り換え経路で、旧中山道を横断する交差点は危険である。信号を設置して欲しい。

**A** 隣接する信号が近く、信号の設置基準から設置が難しいと警察から聞いています。板橋駅周辺の再開発を機に、警察とも連携し安全な乗り換え経路の確保を検討していきます。

**Q** 板橋駅、新板橋間の歩行者優先道路が位置付けられていますが、板橋駅、下板橋間の乗り換え経路についての考えは。

**A** 下板橋駅～板橋駅間の乗り換え経路の整備予定はありませんが、谷端川児童遊園が乗り換え経路として重要であると認識しており、改修等が行われる際に配慮していきたいと考えます。